

2025年4月11日

各 位

会 社 名 ラクオリア創薬株式会社
代 表 者 名 代表取締役 須藤 正樹
(コード番号：4579)
問 合 せ 先 管理室長 安藤 幸司
(TEL. 052-446-6100)

テムリック株式会社と米国Syros社のライセンス契約の終了についてのお知らせ

本日、当社連結子会社のテムリック株式会社（以下「テムリック」）と、Syros Pharmaceuticals Inc.（本社：米国マサチューセッツ州、以下「Syros社」）との間で締結した、レチノイン酸受容体 α 作動薬（タミバロテン/TM-411/SY-1425、以下「タミバロテン」）に関するライセンス契約（以下、「ライセンス契約」）を終了しましたのでお知らせいたします。

テムリックは2015年9月に、北米および欧州におけるタミバロテンのがん治療薬としての開発販売権をSyros社に許諾するライセンス契約を締結しました。Syros社は、RARA遺伝子が過剰発現しているHR-MDS患者を対象とした第Ⅲ相臨床試験（SELECT-MDS-1試験）を実施していましたが、2024年11月12日（現地時間）、本試験において、主要評価項目である完全奏効率（CR率）が達成できなかったこと、および本試験を中止する予定であることを発表しました。さらに、2025年2月28日（現地時間）、Syros社は、事業を縮小して支出を制限すること、ならびに米国NASDAQ株式市場からの自主的な上場廃止および普通株式の登録抹消を進める意向であることを発表しました。

このたび、両社間でタミバロテンの今後の事業戦略について協議した結果、双方の合意によりライセンス契約を終了することといたしました。ライセンス契約の終了に伴い、ライセンス契約に基づいてテムリックがSyros社に付与していたタミバロテンに関する開発販売権はテムリックに返還されます。なお、ライセンス契約の終了に伴う金銭の授受はありません。

テムリックは今後、Syros社が実施した臨床試験データを検証し、今後のタミバロテンのあらゆる可能性について検討を進めてまいります。

なお、本件による2025年12月期（2025年1月1日～2025年12月31日）の通期連結業績予想への影響はありません。中長期的な影響を精査し、今後の事業計画の見直しが必要となる場合は、確定次第、速やかにお知らせいたします。

以 上